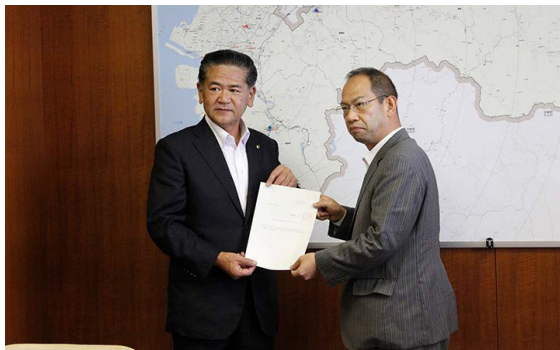


県内の自治体で初の認定

八代市地域公共交通再編実施計画が国の認定を受ける



▲認定書を交付する加賀至局長（右）

本市が策定した「八代市地域公共交通再編実施計画」が国の認定を受け、7月20日、国土交通省九州運輸局加賀至局長が市役所鏡支所を訪れ、中村博生市長に認定書を交付しました。

再編内容の特徴は、バス路線の見直しやバスから乗合タクシーへの転換などにより、交通空白地の解消や乗り継ぎ利便の向上と運行の効率化を両立。また、バスの運賃を上限200円（市街地循環バス、乗合タクシーは150円均一運賃）とし、利用者増を図ることです。

中村市長は「公共交通の更なる整備を行い、市民が利用しやすいようにしていく」と話しました。

実施期間は10月から平成32年9月までの3年間です。

友好の架け橋を築く

台湾の中学校と音楽国際交流



▲東石國民中学校マーチング部と第一中学校吹奏楽部による合同演奏

7月11日、台湾嘉義縣立東石國民中学校マーチング部の2年生63人が第一中学校を訪れ、音楽を通じた国際交流を行いました。

これは、インバウンド事業のひとつとして教育旅行の受け入れを行うもので、音楽を通じた国際交流によって相互理解を深め、友好の架け橋を築くことを目的としています。

第一中学校吹奏楽部は、演歌やデイズニーの曲などを歌や踊りとともに演奏し、東石國民中学校マーチング部はJ-POPの曲などをマーチングパフォーマンスとともに演奏しました。両校一緒に行った合同演奏では「世界にひとつだけの花」を演奏し、交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。

功績を称える

平成29年度 八代市有功者表彰式



▲有功者の皆さん（当日、40人が出席）

8月1日、鏡文化センターで八代市有功者表彰式が行われました。

これは、毎年8月1日の市制施行記念日に市政に功績のあった人を称えて表彰を行うもので、今年は消防団分団長や青少年指導員、介護認定審査会委員など62人が表彰を受けました。

中村博生市長が「それぞれの分野でよりよい地域社会の確立のための真摯な活動をしてくださる感謝しています。これまでに培ってきた知識と経験をもとに、今後も支援をお願いします」と式辞を述べると、表彰者を代表して、女性消防隊長の笠田佳子さんは「それぞれの分野で微力を尽くしてきました。今後もより一層八代市の復興と発展のために努力していきます」と謝辞を述べました。

中九州の物流拠点「八代港」

岸壁改良と大型ガントリークレーンを設置



▲くまモンと海士江保育園の園児と一緒にくす玉割り

7月29日、八代港コンテナターミナル機能高度化事業報告会が、八代港外港地区国際物流ターミナル内で開催され、地元選出の国会議員や国土交通省、県など、関係者約70人が参加しました。

この事業により、大型輸送船舶に対応する水深12m岸壁の老朽化対策が実施され、物流コスト削減のための大型ガントリークレーンが設置されました。

報告会では、国土交通省港湾局 菊池身智雄局長が「八代港は中九州の物流拠点であり、産業拠点でもある。今後も活力ある地域になるよう、全力で取り組みます」とあいさつ。中村博生市長は、「設置により、八代港の利便性向上と利用拡大が図られ、県南地域全体の発展に大きく寄与できる」と話しました。

夏季特別展覧会 探してみよう！やつしろの宝もの



▲熱心に鑑賞する来館者

7月14日、夏季特別展覧会「探してみよう！やつしろの宝もの」指定文化財大集合」が市立博物館で始まりました。

この展覧会は、市内の指定文化財239件（平成29年6月現在）の中から50件を厳選して紹介する内容となっています。

初日の開会式では、同博物館の松井葵之館長が「市民の身近にありながら目に触れることのできなかった指定文化財を紹介することで、ふるさとの文化、歴史を見直す機会として」とあいさつ。会場を訪れた人たちは、解説を聞きながら興味深く鑑賞していました。

地元の食材を使いました 高校生がコンビニパンをプロデュース



▲プレゼンテーションをする八代東高校の生徒

7月14日、鏡町のアグリビジネスセンターで高校生によるコンビニパンの商品開発企画書プレゼンテーションが行われました。

各校とも地元食材を使ったパンを熱心にプレゼンし、審査員からも好評の声が多く上がりました。最優秀校は球磨商業高校。きくらげや野菜をふんだんに使用した「タイピーエンピロシキ」が高く評価されました。

八代からは八代農業高校が「熊本の山うにパン」、秀岳館高校が「ミートマトパン」、八代東高校が「晩白柚コッペパン」をプレゼンテーションしました。

地域を見守り続けて 少年補導栄誉金章の伝達



▲金章を受章した本村さん

7月11日、八代警察署で少年補導栄誉金章の表彰が行われました。

本村さんは永年にわたり、豊富な経験と高い見識を生かして、少年の補導活動、有害環境の浄化活動などに積極的に取り組んだ功労が認められました。

今回、金章を受章したのは本村さんを含め全国で47人、熊本県では本村さん一人です。

本村さんは「補導員の仲間のおかげで受章できました。これからも地域で子どもを見守っていききたい」と喜びを語りました。

新緑の五家荘を満喫 第29回ヤマメつかみ取り大会



▲合図と同時に川に入る参加者

7月30日、泉町の五家荘自然塾で第29回ヤマメつかみ取り大会が開催され、約300人が参加しました。

会場の横を流れる溪流を網で仕切り、幼児・小中学生・大人部門に合計約2000匹のヤマメが放流されました。どつしりと座り慣れた手つきでつかみ取る人もいれば、ヤマメを追いかけ回す人もいて、新緑の山あいに歓声と笑い声が響き渡りました。

今回初めてつかみ取りに挑戦した南来香さん（東陽小2年）は、「ヤマメが早くつかみ取ることが難しかったです」と話しました。

五家荘で夏を楽しむ 五家荘 げんべいつむぎ祭り



▲夜空に打ち上がる花火

7月23日、泉第八小学校グラウンドで五家荘げんべいつむぎ祭りが行われ、多くの人でにぎわいました。

これは五家荘地域の活性化を図るために実施されるもので、今回が初開催となります。前半はステージでのど自慢大会やくまモンステージが行われ、後半には花火の打ち上げや夜空の鑑賞会がありました。

花火を鑑賞した丸山大志さん（泉第八小3年）は「地元で花火が見ることができてうれしかったです。またやってもらいたいです」と話しました。

泉分校の高校生が指導 カヌー教室



▲高校生がプールに入り直接指導

7月19日、泉第八小学校のプールで八代農業高校泉分校の生徒3人が先生役となって、カヌー教室が開催され、同小学校の全校児童8人が参加しました。

児童は、プールに入る前にカヌーの基本的な操作法や水中に落ちた時の対処法などを学び、数分後には、気持ち良さそうにカヌーを走らせていました。

体験した山村亮太さん（泉第八小2年）は、「最初は緊張しましたが、高校生のお兄さんが横に付いて教えてくれたので安心しました」と話し、元気よくカヌーを漕いでいました。



100歳 おめでとうございます



平松 皐月さん
(毘舎丸町)
大正6年8月5日生

水俣市で7人きょうだいの4番目として生まれ育った皐月さん。結婚後2人の子どもに恵まれました。読書が趣味で、若い頃からいろいろな本を読み、最近では移動図書を利用して推理小説をよく読んでいます。編み物が得意で以前は子どもにセーターを編んでいたそうです。長寿の秘訣は「何でもこだわらないこと」。

八代の楽しいがいっぱい 八代の魅力再発見



▲組み立てた笠鉾の前で記念撮影

7月30日・31日の両日、旧宮地東小学校で青少年育成事業「八代の魅力再発見」が行われ、市内の小学5・6年生23人と、ボランティアとして地元高校生14人が参加しました。児童や生徒らは、全身びしょ濡れになりながら美しい深谷を歩くシャワークライミングやカプトムシ採りなどを体験。八代妙見祭の笠鉾のレプリカ組み立てなどに参加した村田彩乃さん(八代小5年)は、「妙見祭には興味があつたけど、笠鉾を組み立てるのがこんなに大変とは思いませんでした。機会があればまた参加したいです」と話しました。

天気っておもしろい お天気教室 with 気象予報士



▲雨粒の形を見る実験

7月30日、麦島コミュニティセンターでお天気教室 with 気象予報士が行われ、小学生35人が参加しました。これは、子どもたちに気象についてのさまざまな現象を体験してもらうことで、知識を深め興味を持つきっかけづくりするもので、防災W E S T が企画しました。イベントでは、台風や防災について実際の災害時の動画を見たり、竜巻や雨粒を見る実験やペットボトルを使って雲を作る実験などを行いました。子どもたちは積極的に質問をして楽しみながら学んでいました。

八代のインバウンド戦略 観光庁長官 講演会



▲講演をする田村観光庁長官

8月7日、観光振興の充実を図る取り組みとして、田村明比古観光庁長官による講演会が開催され、約500人が参加しました。「観光先進国を目指して、日本、そして八代のインバウンド戦略」と題して行われた講演では、クルーズ船受け入れに関わる支援策や関係制度の見直しなどが盛り込まれた「観光ビジョン実現プログラム2017」などの紹介がありました。田村観光庁長官は「観光客のニーズにあった魅力あるツアーになるよう、船会社と交えて地域ぐるみで取り組む必要がある」と話しました。

教育振興のために役立てて 寄附に対して感謝状贈呈



▲故 塩塚明子さんの親族の野口富士子さん(中央右)と野口健一郎さん(中央左)

県公立学校教員として長く本市で教職を務めた故 塩塚明子さんの遺言により、本市に1千万円の寄附が行われ、8月1日、市役所鏡支所で中村博生市長が寄附に対しての感謝状を故人の親族の野口富士子さんと野口健一郎さんへ手渡しました。故 塩塚明子さんは、退職後も本市の教育行政について関心があり、教育振興のために役立ててほしいという思いから寄附に至りました。中村市長は「寄附金は故人の遺志にそって、本市の教育振興のために有効に活用します」と感謝の言葉を述べました。

アメリカ大手クルーズ客船 「ノルウェー جان ジョイ」 初寄港



▲クルーズ客船「ノルウェー ジョイ」

7月31日、アメリカのノルウェー・ジャンクルーズラインが運行する「ノルウェー・ジャンジョイ」(総トン数約17万トン、全長333.46m)が八代港に初めて寄港し、上海からの乗船客約4800人が、県内各地の観光や買い物を楽しみました。船内で行われた歓迎セレモニーでは、小野泰輔副知事、中村博生市長ら関係者が出席。中村市長は「寄港は県内観光地の復興への励みになる。今後とも八代港を利用してほしい」と歓迎し、同客船のハカン・スウィーダン船長らに花束と記念品などを贈りました。